証券コード：**6469**

みんなの「知らない」をカタチにする

株式会社 放電精密加工研究所

2026年2月期　第２四半期(中間期)
決算説明会資料

2025年10月16日

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

■ 本資料のポイント ･･･P.3

■ 2026年2月期第2四半期(中間期)決算概要

□ 2026年2月期第2四半期(中間期) 決算概要（連結） ･･･P. 4

□ 2026年2月期第2四半期(中間期) 利益の変動要因 ･･･P. 5

□ 事業概要 ･･･P. 6

□ 2026年2月期第2四半期(中間期) セグメント別概要 ･･･P. 7～

□ 連結貸借対照表とＣＦの状況 ･･･P. 11

□ 2026年2月期 設備投資･償却費･研究開発費 ･･･P.12

■ 2026年2月期通期連結業績予想 ･･･P.13～

■ 中期経営計画2027における施策の進捗 ･･･P.24～

■ 別紙①：2026年2月期第2四半期(中間期)決算補足資料
■ 別紙②：企業概要について

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

本資料のポイント

2026年2月期
第２四半期(中間期)
連結業績の総括

◆売上高7,101百万円　前年同期比19.3%増
- 放電加工・表面処理および機械装置等が増収、金型は減収

◆営業利益616百万円　前年同期比3.7倍に大幅増
- 増収および一部製品の価格改定に伴う増益

◆親会社株主に帰属する中間純利益343百万円

2026年2月期
通期連結業績予想

◆2025年10月2日、通期連結業績予想を修正
- 売上高は前期比+9.3%の成長、営業利益は+16.1%を予想

中期経営計画2027
における施策の進捗

◆中期経営計画2027達成に向けた活動の進捗
- 生産体制構築や増産ラインでの生産開始もあり計画通り進捗

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期第2四半期(中間期) 決算概要（連結）

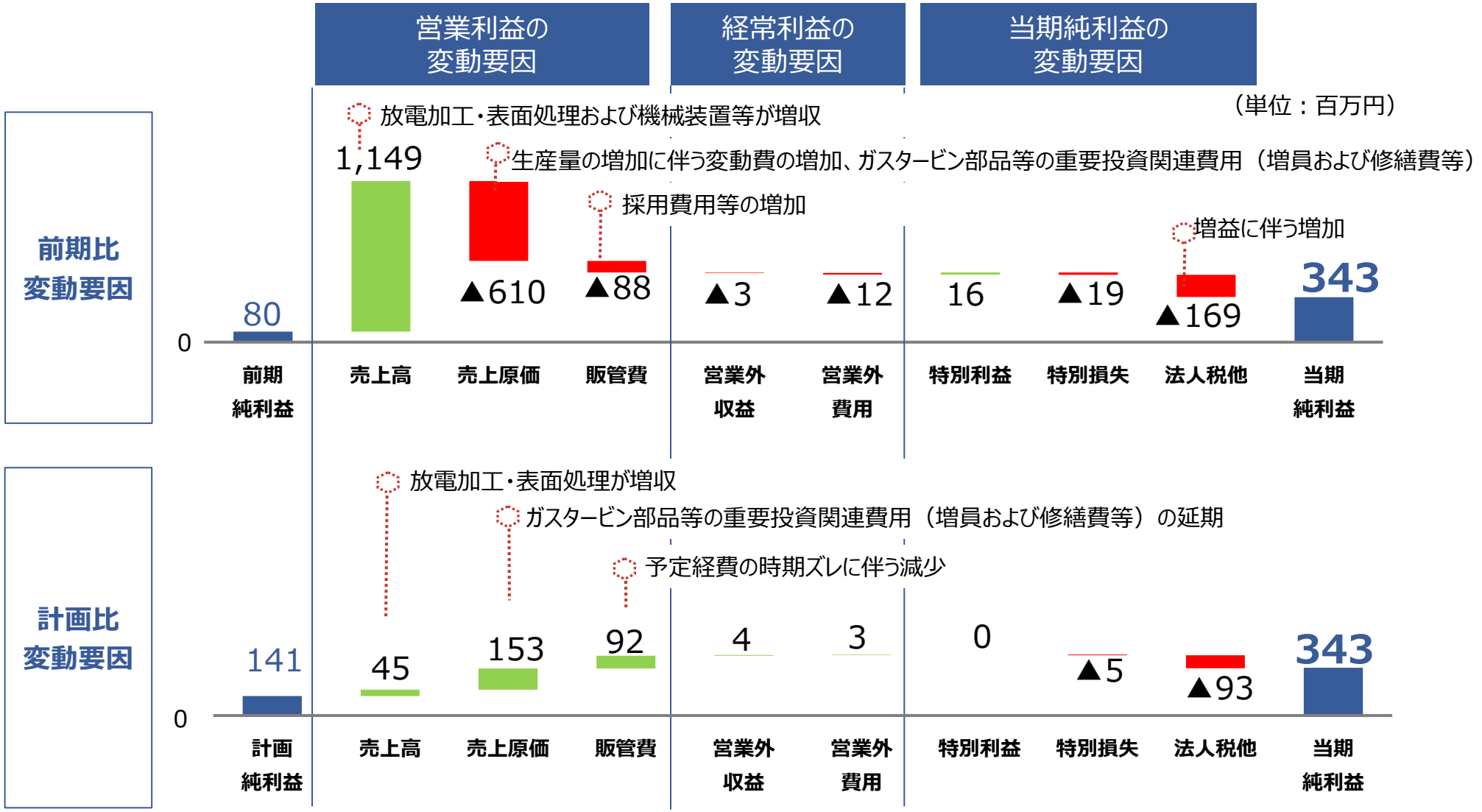
（単位：百万円）

	25年2月期 第2Q実績	26年2月期 第2Q計画	26年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	5,952	7,055	**7,101**	+1,149	+45
売上原価	4,624	5,388	**5,234**	+610	▲153
売上総利益	1,328	1,666	**1,866**	+538	+199
販管費	1,161	1,342	**1,249**	+88	▲92
営業利益	166	324	**616**	+449	+292
営業外損益	▲28	▲52	**▲44**	▲16	+7
経常利益	137	271	**571**	+433	+300
特別損益	▲13	▲10	**▲15**	▲2	▲5
税金等調整前中間純利益	124	261	**556**	+431	+294
法人税等	45	100	**196**	+151	+96
中間純利益	79	161	**359**	+280	+198
非支配株主に帰属する中間純利益	▲1	19	**16**	+17	▲3
親会社株主に帰属する中間純利益	80	141	**343**	**+262**	**+201**

※26年2月期計画：25年7月3日公表 業績予想

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期第2四半期(中間期) 利益の変動要因



※計画比：25年7月3日公表 業績予想

※純利益：親会社株主に帰属する中間純利益
※法人税他：法人税等および非支配株主に帰属する中間純利益

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

事業概要

放電加工・表面処理

- 航　空　・　宇　宙　～航空機エンジン部品
- 交　通　・　輸　送　～自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー　～ガスタービン部品




金　　型

- 住　　宅　～アルミ押出用金型
- 交　通　・　輸　送　～セラミックスハニカム押出用金型

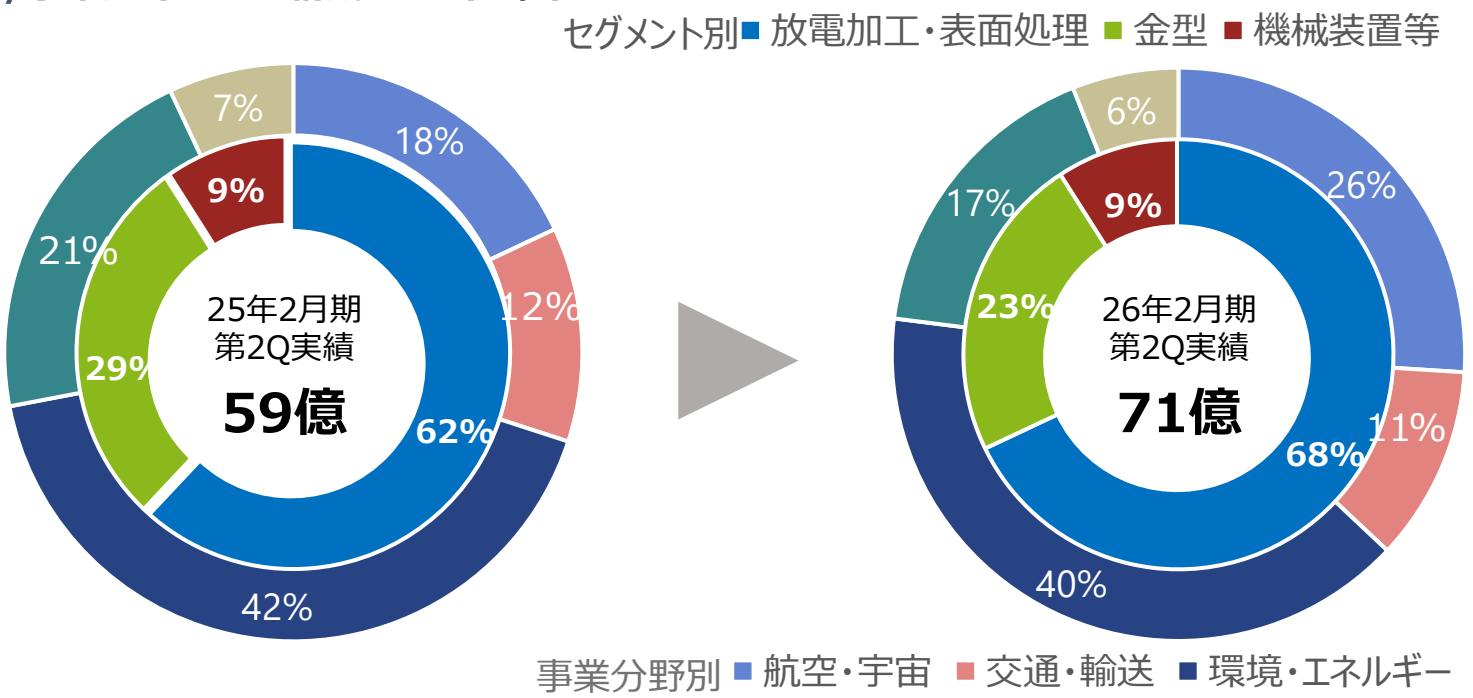



機　械　装　置　等

- 機　械　設　備　～プレス機・プレス付帯設備
- 交　通　・　輸　送　～自動車関連プレス部品




セグメント別/事業分野別売上構成比率（連結）



※セグメント間の組替：2025年３月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い2025年2月期の数値も変更しております。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期第2四半期(中間期)セグメント別概要

(単位：百万円)

		25年2月期 第2Q実績	26年2月期 第2Q計画※	26年2月期 第2Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	放電加工・表面処理	3,725	4,759	**4,852**	+1,126	+92
	航空・宇宙	1,062	1,842	**1,867**	+804	+25
	交通・輸送	161	170	**171**	+10	+1
	環境・エネルギー	2,501	2,746	**2,812**	+311	+66
営業利益		543	856	**1,002**	+458	+145
売上高	金型	1,700	1,654	**1,646**	▲54	▲8
	住宅	1,243	1,271	**1,249**	+6	▲21
	交通・輸送	457	383	**396**	▲60	+13
営業利益		184	121	**152**	▲31	+30
売上高	機械装置等	526	641	**602**	+76	▲38
	機械設備	392	452	**416**	+24	▲35
	交通・輸送	134	189	**185**	+51	▲3
営業利益		▲30	52	**58**	+88	+5
全社費用		▲531	▲706	**▲595**	+64	▲110
全社	売上高	5,952	7,055	**7,101**	+1,149	+45
	営業利益	166	324	**616**	+449	+292

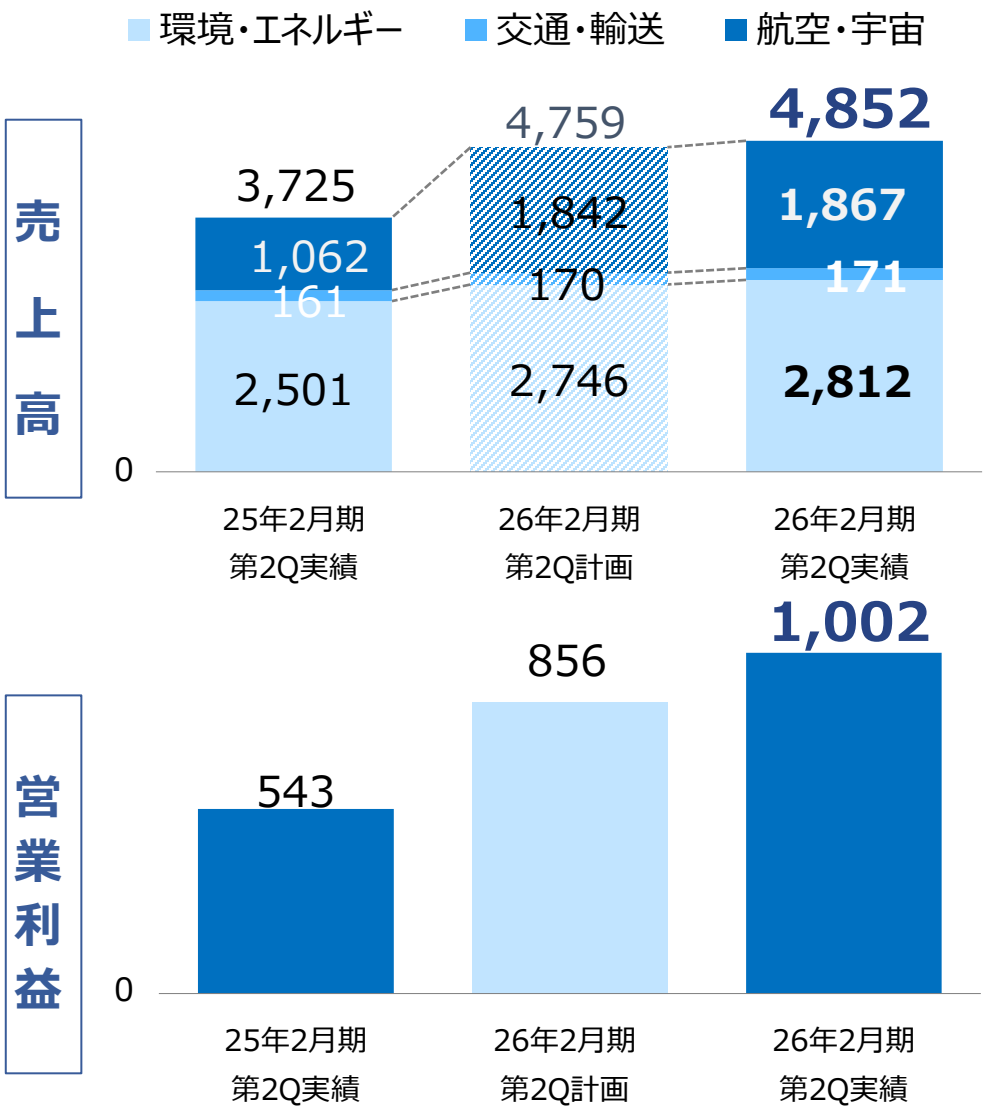
※26年2月期第2Q計画：25年7月3日公表 業績予想

※セグメント間の組替：2025年３月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い2025年2月期の数値も変更しております。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

（単位：百万円）



前期比 増収・増益

売 上 高： 3,725 ⇒ **4,852** (+1,126)

営業利益： 543 ⇒ **1,002** (+458)

売上高増減要因（ 前期比 / 計画比 ）

□**航空・宇宙**(↑ / ↑)

◇前期比は、航空機エンジン部品の生産量の回復および防衛装備品の需要増加により増収。

◇計画比は、航空機エンジン部品および防衛装備品が需要の増加により増収。

□**交通・輸送**(↑ / ↑)

◇前期比は、自動車表面処理部品が需要増加により増収。

◇計画比は、自動車表面処理部品がおおむね計画通りに進捗。

□**環境・エネルギー**(↑ / ↑)

◇前期比・計画比ともに、ガスタービン部品の高収益事業であるメンテナンス需要およびライン増設を見据えた前倒し出荷により増収。
さらに石油ガス産業の精製・輸送需要の増加を背景に遠心圧縮機が増収。

営業利益増減要因（ 前期比 / 計画比 ）

□(↑ / ↑)

◇前期比は、ガスタービン部品の高収益事業であるメンテナンス需要や遠心圧縮機部品の価格改定により増益。

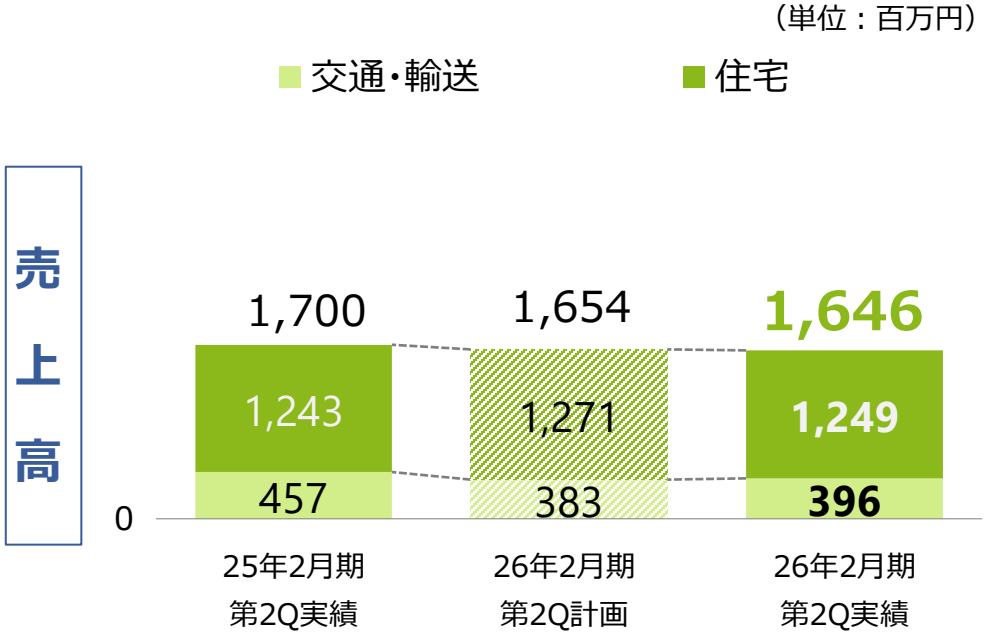
◇計画比は、ガスタービン部品の高収益事業であるメンテナンス需要やガスタービン部品の重要投資関連費用の延期等に伴う経費の減少により増益。

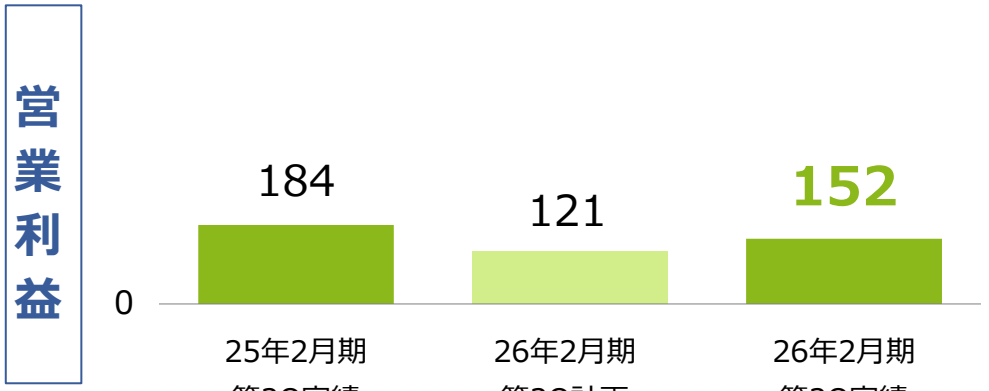
※セグメント間の組替：2025年３月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い2025年2月期の数値も変更しております。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：金型

（単位：百万円）





前期比 減収・減益

売 上 高：　1,700 ⇒ **1,646** (▲54)

営業利益：　184 ⇒ **152** (▲31)

売上高増減要因（ 前期比 / 計画比 ）

□**住宅**(↑ / ↓)

◇前期比は、国内向けアルミ押出用金型が省エネ基準適合義務化に伴う駆け込み需要の反動の影響により減収も、海外子会社における需要の増加で前期並みに推移。

◇計画比は、国内向けアルミ押出用金型が設備故障の影響による納入遅延で減収。

□**交通・輸送**(↓ / ↑)

◇前期比は、セラミックスハニカム押出用金型が大型製品の受注が減少し減収。

◇計画比は、セラミックスハニカム押出用金型の売上前倒しにより増収。

営業利益増減要因（ 前期比 / 計画比 ）

□ (↓ / ↑)

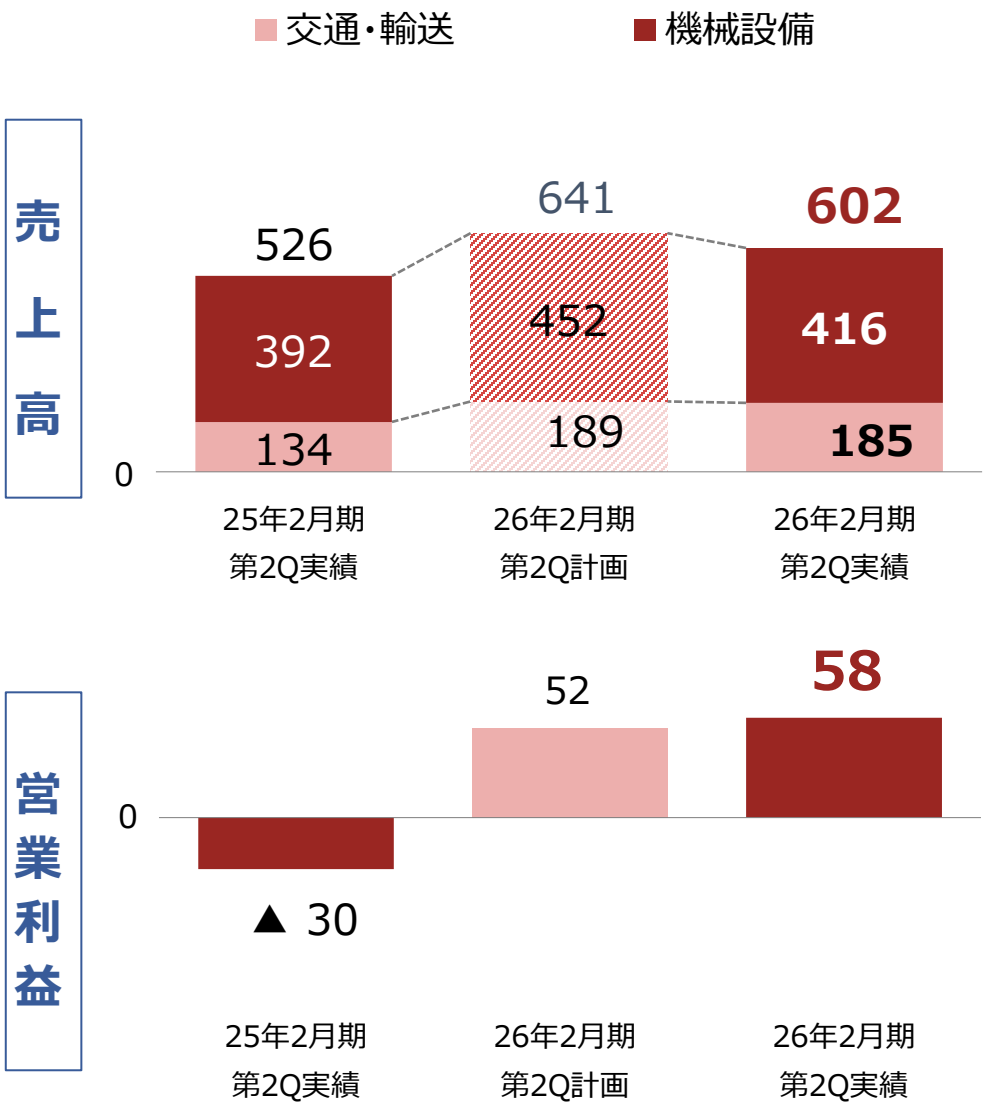
◇前期比は、前期に行った海外子会社における早期退職等により固定費が圧縮されたものの、減収により減益。

◇計画比は、修繕計画の延期等により増益。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：機械装置等

（単位：百万円）



前期比 増収・増益

売 上 高：　526 ⇒ **602**（+76）
営業利益：　▲30 ⇒ **58**（+88）

売上高増減要因（前期比 / 計画比）

□**機械設備**（↑ / ↓）
- ◇前期比は、前期末に延期となっていたプレス機および付帯設備の販売により増収。
- ◇計画比は、MF混合溶融装置の販売がなく減収。

□**交通・輸送**（↑ / ↓）
- ◇前期比は、自動車関連プレス部品の価格改定により増収。
- ◇計画比は、自動車関連プレス部品がおおむね計画通りに進捗。

営業利益増減要因（前期比 / 計画比）

□（↑ / ↑）
- ◇前期比は、プレス機の販売、自動車関連プレス部品の価格改定にくわえ工場集約による固定費圧縮により増益。
- ◇計画比は、減収も固定費圧縮により増益

※セグメント間の組替：2025年３月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い2025年2月期の数値も変更しております。

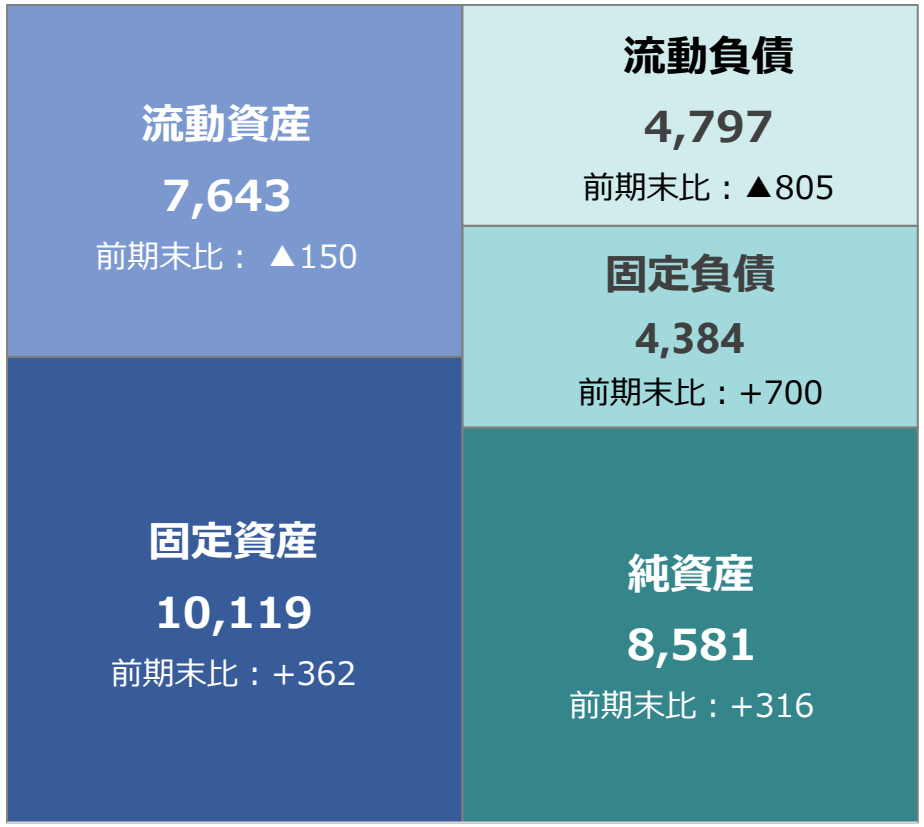
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

連結貸借対照表とキャッシュ・フローの状況

資産構造の転換: 効率的な資本活用と成長を支える固定資産へのシフト

連結貸借対照表

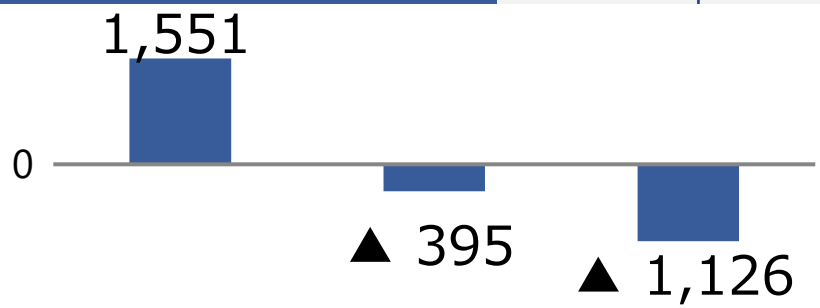
（単位：百万円）



キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	25年2月期 第2Q実績	26年2月期 第2Q実績
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,011	**2,414**



自己資本比率

2026年2月期第2Q ： 43.3%

2025年2月期 ： 41.9%

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期｜設備投資・償却費・研究開発費

設備投資／減価償却費

（単位：百万円）

	25年2月期 第2Q実績	26年2月期 第2Q実績	26年2月期 計画
設備投資	444	**546**	**1,500**
減価償却費	338	**400**	**800**

2026年2月期 主な投資案件

- ガスタービン部品、航空機エンジン部品の生産体制再整備
- その他事業の定期設備更新

研究開発費

（単位：百万円）

	25年2月期 第2Q実績	26年2月期 第2Q実績	26年2月期 計画
研究開発費	23	**12**	**50**

2026年2月期 主な研究開発案件

- 自社リソースを活用した自動化・省人化の推進
- 工法改善による生産の効率化・新工法の開発
- 混合溶融機の性能向上および混合溶融技術の素材を活用した各種成型技術の検証

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期 通期連結業績予想

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

通期業績予想について

下期業績予想の前提条件

セグメント	外部環境 ↑増収要因　↓減収要因		主な施策と進捗状況
放電加工 ・ 表面処理	↑	エネルギー分野は、AI普及を背景にデータセンターの新増設に伴う電力需要が旺盛	・ガスタービン部品は安定的な成長と新たな成長ドライバー獲得に向け、新ラインと新アイテムの立上げを並行して推進 ・航空機エンジン部品は、増産への対応 ・防衛装備品は、需要に対応する生産体制を整備
		航空・宇宙分野は、足元では航空業界のサプライチェーンの上流において若干の乱れが生じているが、業界全体は回復～成長トレンドへ	
金型	↓	住宅分野は、省エネ基準適合義務化に伴う駆け込み需要の反動が当面継続	・アルミ押出用金型およびセラミックスハニカム押出用金型は効率的な対応で採算確保
		交通・輸送分野は、米国関税政策の影響は僅少も、ガソリン車需要は低水準が継続	
機械装置等	↓	ものづくり現場の自動化・省人化需要はあるものの、金利上昇により投資には慎重さも	・サーボプレス機は、受注案件の期中販売と受注残の積上げ

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期 通期連結業績予想

売上高、営業利益、経常利益において、前期比で増収増益

(単位：百万円)

	25年2月期 実績	26年2月期 2025年10月2日公表 修正予想	前期差異	前期比
売　上　高	12,898	**14,101**	+1,203	109.3%
営 業 利 益	689	**800**	+111	116.1%
経 常 利 益	643	**708**	+65	110.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	583	**427**	▲156	73.3%

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期 通期連結業績予想 利益の変動要因

今期は持続的な成長に向けた重要な投資フェーズ、一時的にコスト増加

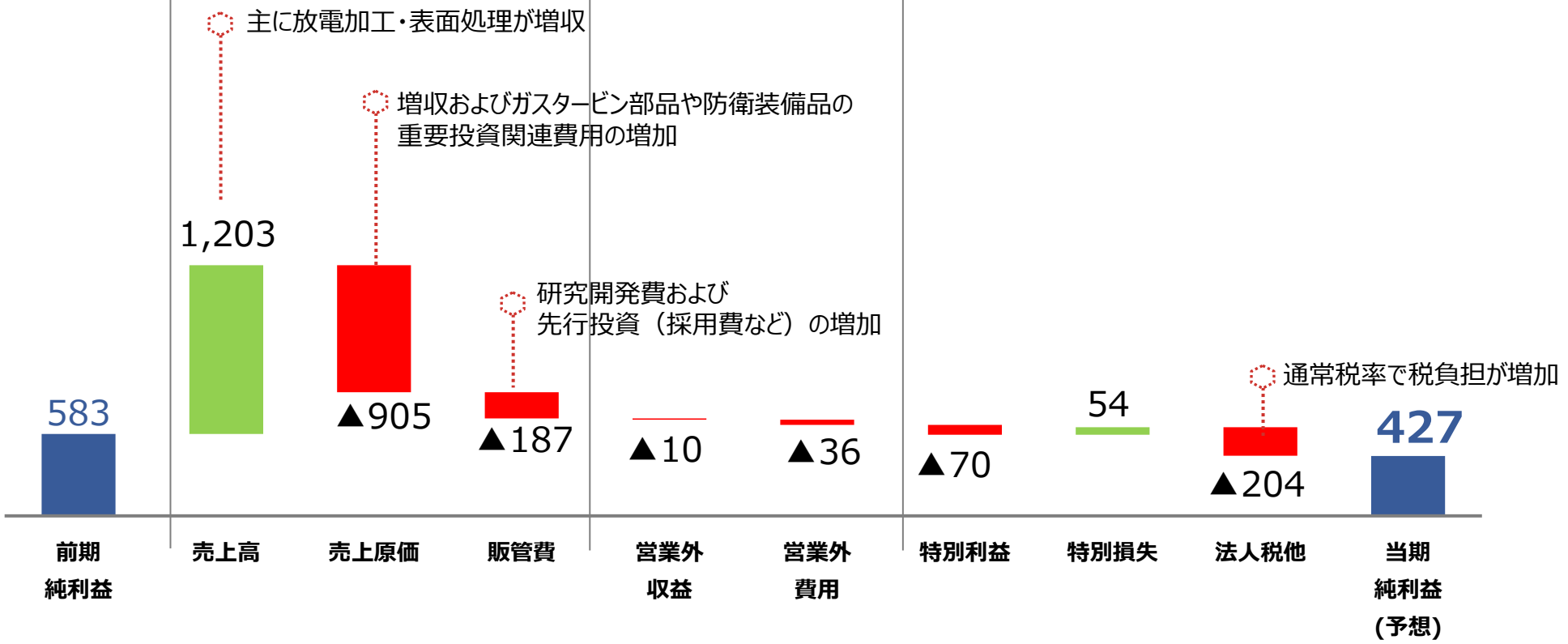
前期比
変動要因

営業利益の
変動要因

経常利益の
変動要因

当期純利益の
変動要因

（単位：百万円）



※純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
※法人税他：法人税等および非支配株主に帰属する当期純利益

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

2026年2月期セグメント別業績予想

立上げの進捗を慎重に見極め、利益は保守的に予測。安定的な基盤構築を優先

(単位：百万円)

		25年2月期 通期実績	26年2月期 通期業績予想	前期差 増減	26年2月期 上期実績	26年2月期 下期見通し	上下 増減
売上高	放電加工・表面処理	8,341	**9,552**	+1,211	**4,852**	**4,700**	▲151
	航空・宇宙	2,611	**3,768**	+1,157	**1,867**	**1,900**	+33
	交通・輸送	323	**363**	+39	**171**	**191**	+19
	環境・エネルギー	5,406	**5,421**	+14	**2,812**	**2,608**	▲204
営業利益		1,441	**1,717**	+275	**1,002**	**715**	▲286
売上高	金型	3,318	**3,354**	+36	**1,646**	**1,708**	+61
	住宅	2,469	**2,495**	+25	**1,249**	**1,246**	▲3
	交通・輸送	848	**859**	+10	**396**	**461**	+65
営業利益		333	**295**	▲38	**152**	**142**	▲9
売上高	機械装置等	1,238	**1,194**	▲44	**602**	**591**	▲10
	機械設備	966	**816**	▲150	**416**	**399**	▲17
	交通・輸送	271	**378**	+106	**185**	**192**	+6
営業利益		36	**97**	+61	**58**	**39**	▲18
全社費用		▲1,122	**▲1,310**	+187	**▲595**	**▲714**	+118
全社	売上高	12,898	**14,101**	+1,203	**7,101**	**7,000**	▲100
	営業利益	689	**800**	+111	**616**	**183**	▲432

※セグメント間の組替：2025年３月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い2025年2月期の数値も変更しております。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

参考)2026年2月期セグメント別業績予想　前回予想対比

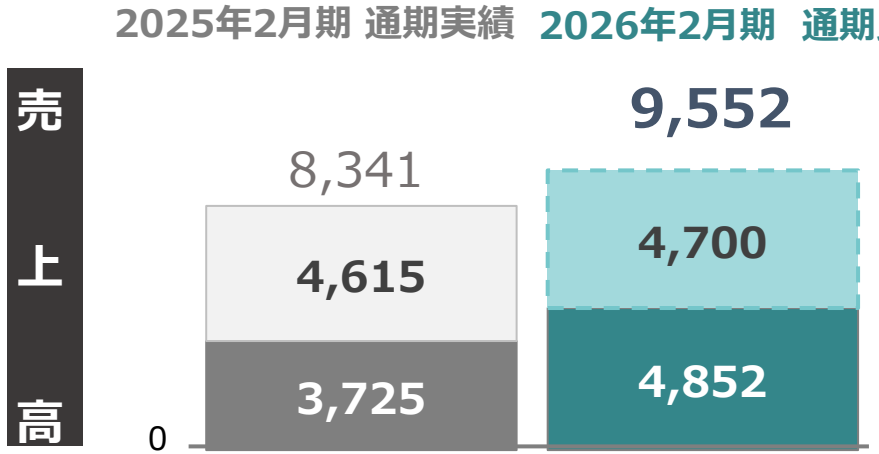
(単位：百万円)

		26年2月期予想 2025年７月3日公表	26年2月期予想 2025年10月2日公表	前期差 増減	差異要因
売上高	放電加工・表面処理	9,453	**9,552**	+99	売上は、ガスタービン部品および遠心圧縮機部品の受注増加により増収 営業利益は、遠心圧縮機部品の高収益事業の増収およびガスタービン部品の投資費用の精査による経費の減少等で増益
	航空・宇宙	3,784	**3,768**	▲16	
	交通・輸送	332	**363**	+31	
	環境・エネルギー	5,336	**5,421**	+84	
営業利益		1,548	**1,717**	+169	
売上高	金型	3,437	**3,354**	▲82	売上は、セラミックスハニカム押出用金型の受注が減少し減収 営業利益は、高付加価値案件の減少で減益
	住宅	2,517	**2,495**	▲22	
	交通・輸送	919	**859**	▲60	
営業利益		377	**295**	▲81	
売上高	機械装置等	1,510	**1,194**	▲316	売上は、プレス機販売の減少で減収 営業利益は、減収より減益
	機械設備	1,129	**816**	▲313	
	交通・輸送	381	**378**	▲2	
営業利益		210	**97**	▲113	
全社費用		▲1,422	**▲1,310**	▲112	
全社	売上高	14,401	**14,101**	▲299	
	営業利益	714	**800**	+86	

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

■2025年2月期 上期実績　□2025年2月期 下期実績　■2026年2月期 上期実績　□2026年2月期 下期見通し　（単位：百万円）

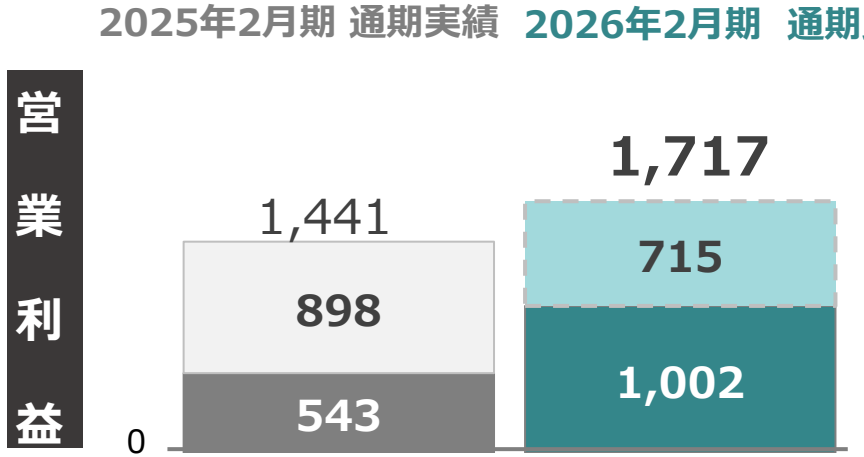


売上高下期見通し（上期対比）

■(↑)航空・宇宙
◇航空機エンジン部品と防衛装備品の受注増加により増収。

■(↑)交通・輸送
◇自動車表面処理部品は、受注増加により増収。

■(↓)環境・エネルギー
◇ガスタービン部品は、高収益事業であるメンテナンス需要が上期に集中し反動減。
◇遠心圧縮機部品は、需要が上期に集中し反動減。



営業利益下期見通し（上期対比）

■(↓)
◇環境・エネルギーのガスタービン部品の高収益事業であるメンテナンス需要や遠心圧縮機部品が上期に集中したことや、時期ズレとなったガスタービン部品の投資関連の経費負担が一時的に増加し減益。

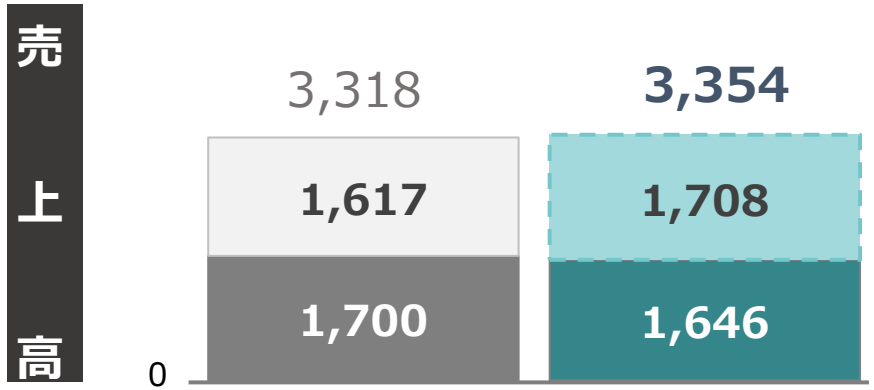
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：金型

■2025年2月期 上期実績 □2025年2月期 下期実績 ■2026年2月期 上期実績 ▦2026年2月期 下期見通し

（単位：百万円）

2025年2月期 通期実績　2026年2月期　通期見通し



売上高下期見通し（上期対比）

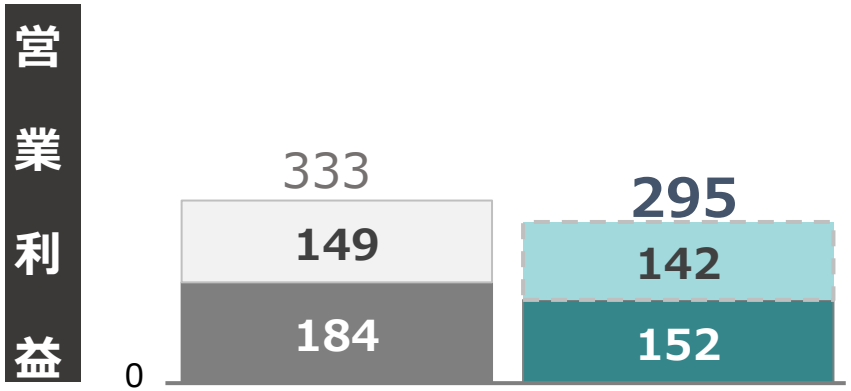
■(→)住宅

◇国内向けおよび海外向けアルミ押出用金型は、おおむね上期並みに推移。

■(↑)交通・輸送

◇セラミックスハニカム押出用金型は、高付加価値品の受注回復を見込み増収。

2025年2月期 通期実績　2026年2月期　通期見通し



営業利益下期見通し（上期対比）

■(↓)

◇増収も上期に延期した修繕費等を見込み減益。

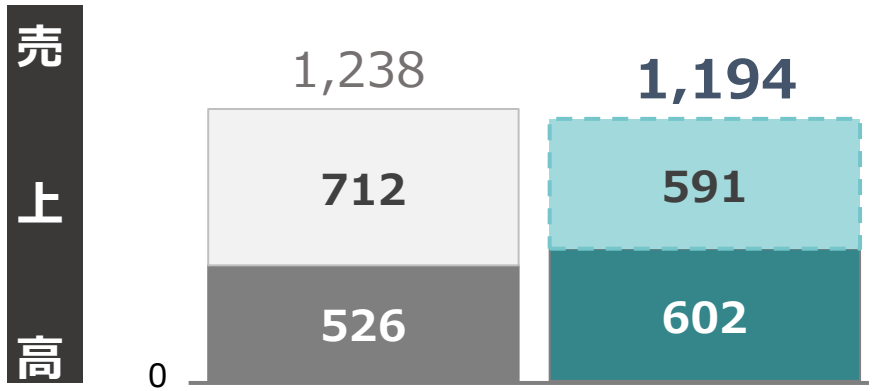
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

セグメント別詳細：機械装置等

■2025年2月期 上期実績 □2025年2月期 下期実績 ■2026年2月期 上期実績 ▩2026年2月期 下期見通し

（単位：百万円）

2025年2月期 通期実績　2026年2月期　通期見通し



売上高下期見通し（上期対比）

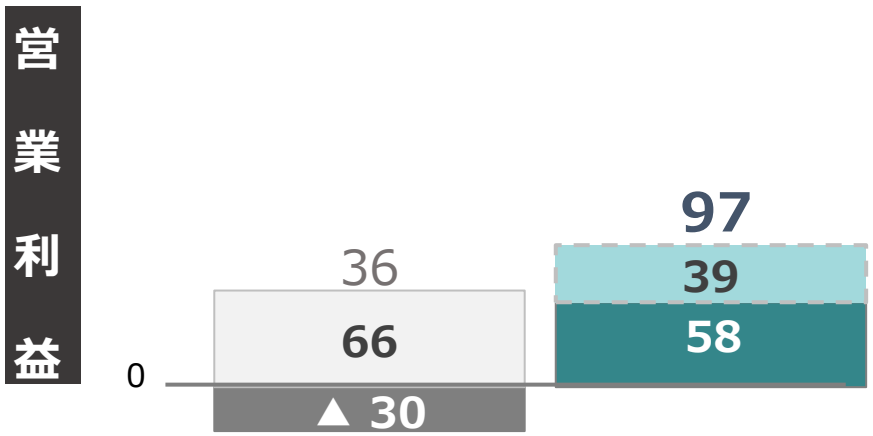
■(↓)機械設備

◇機械設備関連は、プレス機販売が減収。
◇シェアリングサービスは量産試作の需要が一定量を継続。
◇環境事業は、おおむね上期並みに推移。

■(→)交通・輸送

◇自動車関連プレス部品は、おおむね上期並みに推移。

2025年2月期 通期実績　2026年2月期　通期見通し



営業利益下期見通し（上期対比）

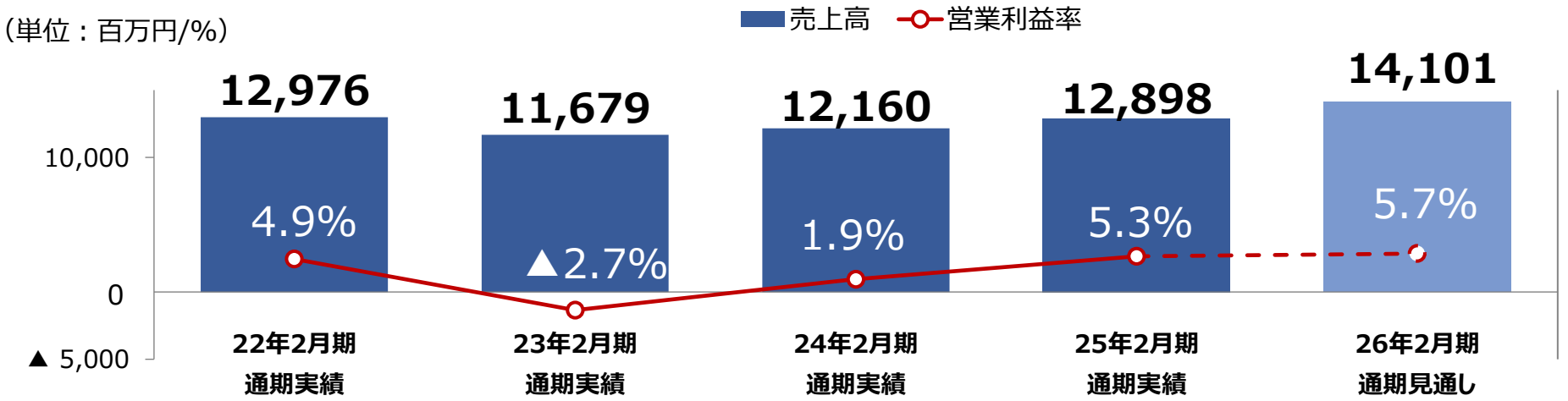
■(↓)

◇プレス機販売の減収や上期に延期した修繕費等を見込み減益。

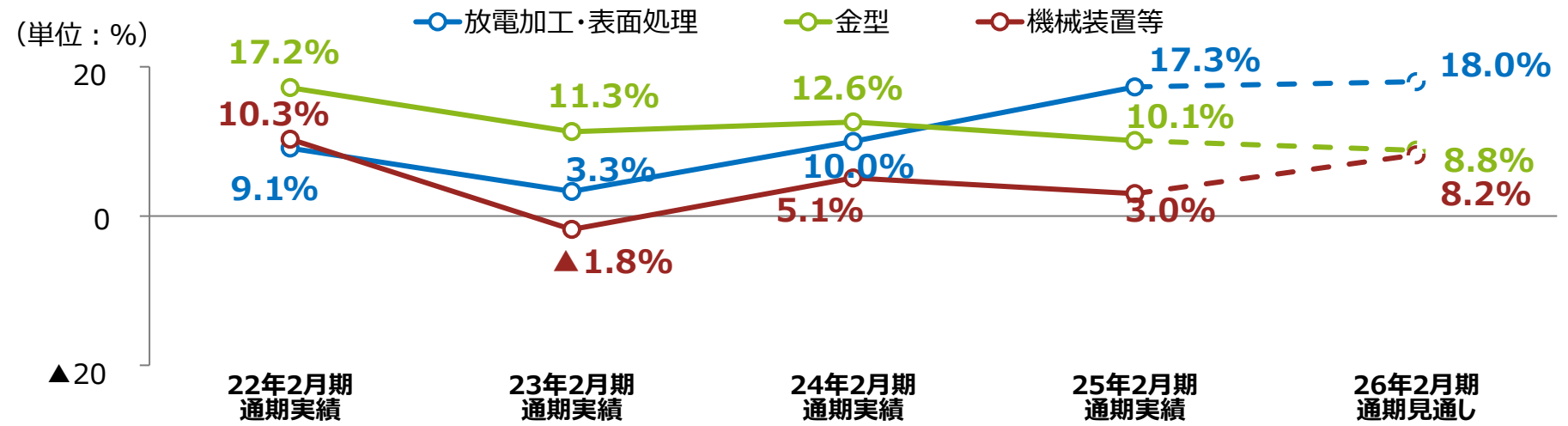
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

売上高・営業利益率推移

売上高と営業利益率推移



セグメント別営業利益率推移



※1.営業利益率は外部売上で算出しています。 ※2.セグメント営業利益率は本社費等控除前のものになります。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

株主還元について

株主様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと考え、現在および今後の事業収益をベースに将来の事業展開や経営体質の強化のために必要な内部留保資金の確保などを勘案し、安定的かつ継続的な利益還元を実施します

配当金

2026年２月期予想	**15円**
2025年２月期	12円

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

中期経営計画2027における施策の進捗

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

中期経営計画2027　2年目以降の方向性

中期経営計画2027
次の成長を見据えた基礎固め

収益基盤の盤石化・経営の安定性を維持向上

◆成長分野は業容の拡大へ向けた投資を順次実施

- ガスタービン部品と防衛装備品は増産ニーズへ対応するため増員・生産設備の能力向上

◆三菱重工業株式会社との資本業務提携によるシナジー効果創出

- 独立性を維持しつつ、持続可能性などの対話を深め、経営の安定性を強化
- 長期的な戦略的パートナーシップを構築し連携を強化、成長分野の増産ニーズへ対応

◆利益創出体制を強化

- 業務の標準化、生産の自動化・省人化で効率性を追求、調達コスト管理強化

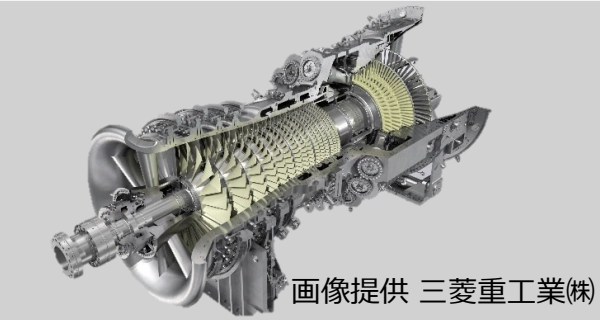
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

事業の位置づけ

事業機会と収益性

成長事業へ：需要へ対応、業績牽引

環境・エネルギー分野



＜アイテム＞
- ガスタービン部品
- 遠心圧縮機部品

航空・宇宙分野



＜アイテム＞
- 航空機エンジン部品
- 防衛装備品

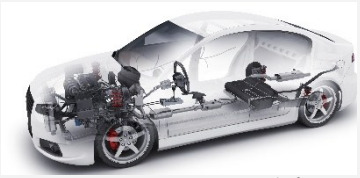
安定事業へ：・効率化推進



住宅分野

＜アイテム＞
- 住宅アルミサッシ押出用金型

再成長へ：新分野での機会創出



交通・輸送分野

＜アイテム＞
- セラミックスハニカム押出用金型



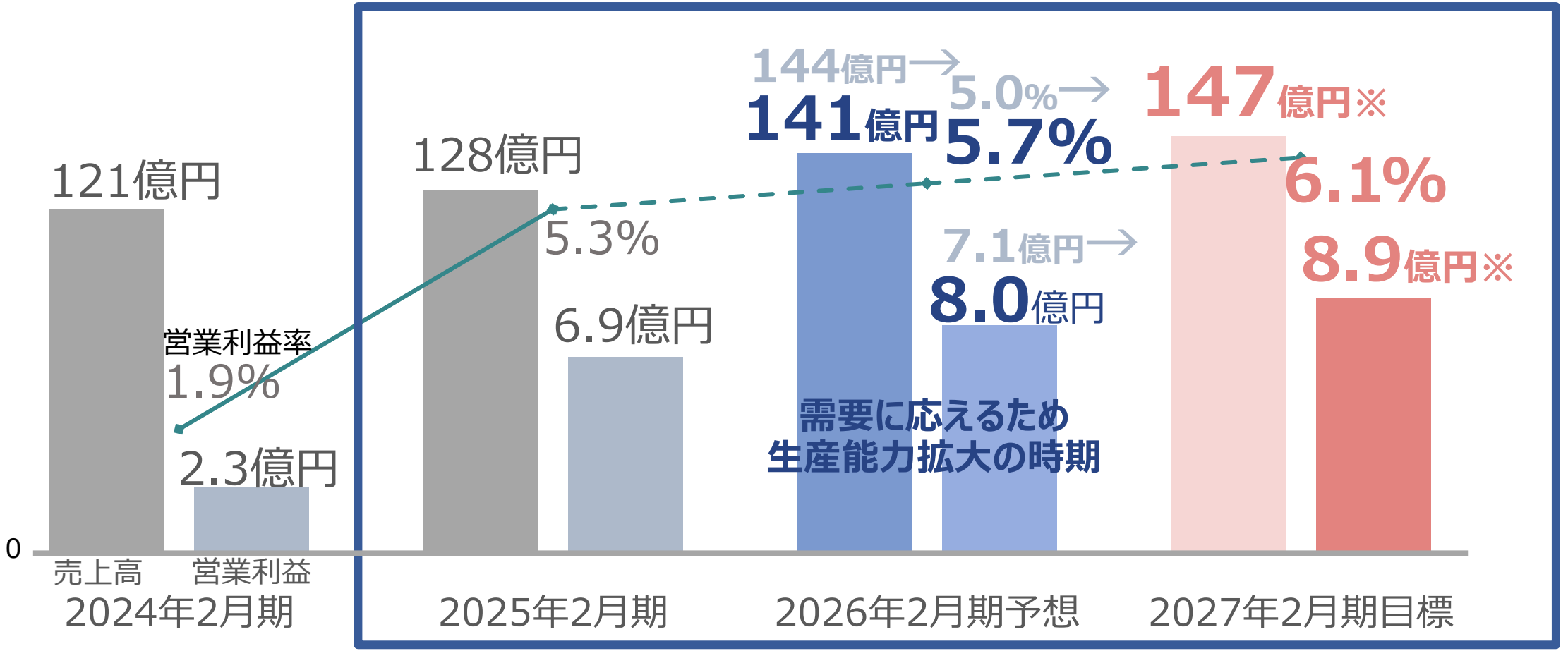
機械設備分野

＜アイテム＞
- デジタルサーボプレス機

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

中期経営計画2027業績推移

※2027年2月期目標は2024年4月9日に公表した数値です。



財務体質の改善 自己資本比率	2024年２月期	2025年２月期	2027年２月期以降
	35.8% （前期比7.9ポイント増）	41.9%	注力分野の回収本格化

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

注力分野の成長に向けた取り組み

三菱重工業株式会社との資本業務提携による財務体質の改善と需要への対応

期待できる最大の効果	両社の強みを最大限に活かし、 環境・エネルギー分野と航空・宇宙分野の発展により持続的に価値の提供が可能となる

資本業務提携で発生した効果

財務体質の改善と投資資金の獲得

調達した資金　20億円

財務体質の改善7億円

- **自己資本比率が2024年２月期に35.8%**
  （自己資本比率が当時で7.9ポイント改善）

先行投資資金の獲得13億円

- **主にガスタービン部品の生産能力増強に設備投資**
- 航空機エンジン部品の増産に伴う設備投資
- 防衛装備品の需要拡大への管理体制の構築

業務提携で今後期待できる効果

人材交流（当社と三菱重工）

防衛装備品

- 技術者派遣を受け入れ、内部製品の取込み強化と新規アイテムを早期に立上げ
- サプライチェーンの生産能力向上

ガスタービン部品

- 社内の生産管理能力の強化へ

業務提携（生産の棲み分けの再設定）

ガスタービン部品

- メンテナンス需要への対応

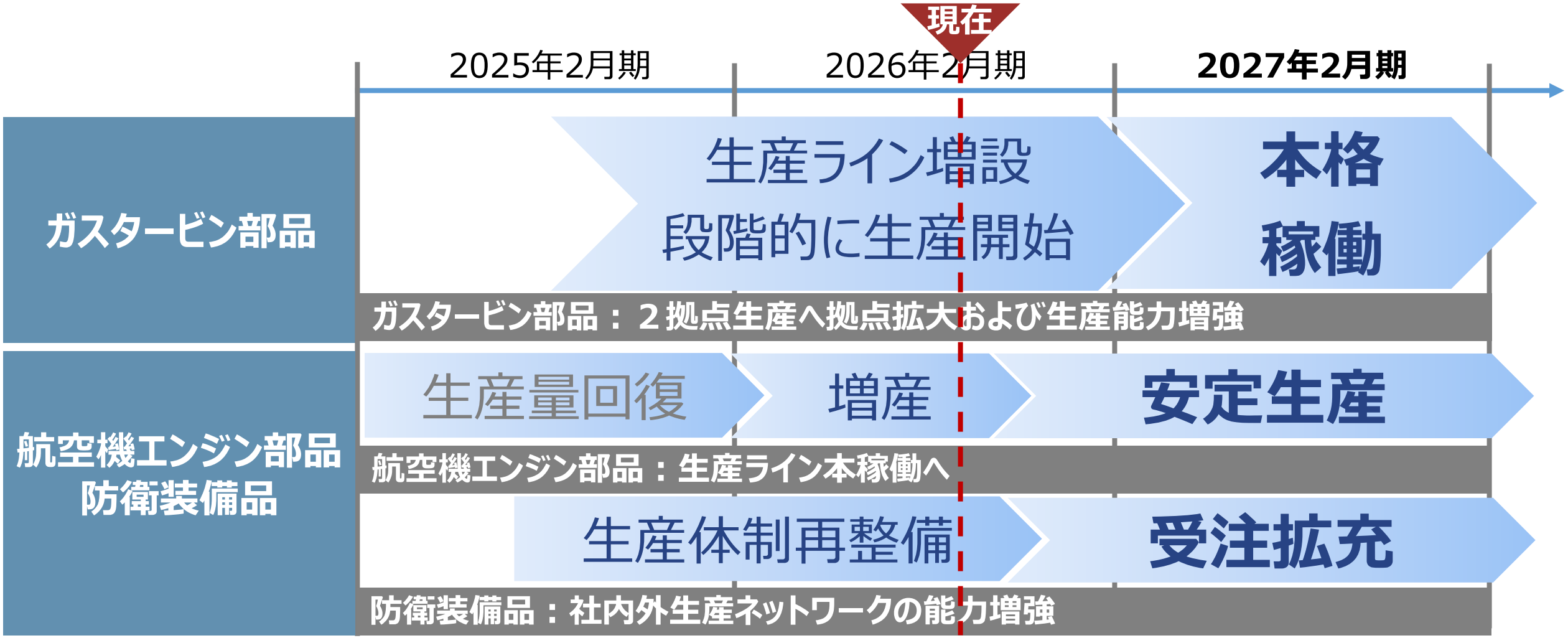
防衛装備品

- 既存アイテムおよびモデルチェンジへの対応

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

注力分野の施策の進捗①

当初予定通りに進捗、準備期間を経て３年目に生産本格化



Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

注力分野の施策の進捗②

➢ 先行投資により各拠点で再整備を実施

ガスタービン部品

生産拠点の拡大　完了

2025年4月 生産開始

名古屋事業所を整備し、岡山事業所と2拠点生産体制構築



岡山事業所



名古屋事業所

生産能力増強　進捗中

2027年2月期 生産開始予定

岡山事業所と名古屋事業所の生産能力を増強

設備移管は完了。
新設備立上げ、期末より増強ラインでの生産開始

航空機エンジン部品

増産に伴う設備の増強　完了

2025年2月期下期 生産開始



小牧事業所

防衛装備品　進捗中

生産対応能力の増強準備と再構築

2026年2月期下期 生産開始予定

専門性の高い人材の獲得や育成、パートナーとの関係強化など、需要拡大に合わせた生産管理体制を構築中

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

航空・宇宙分野の当社の強み

航空分野で培った加工技術や生産技術・品質保証技術にくわえ、航空宇宙部品ネットワークAPNetサービスで、新製やメンテナンス需要に対し包括的なソリューションを提供



航空機
エンジン部品

- 低圧タービンブレード
- 圧縮機燃焼器部品

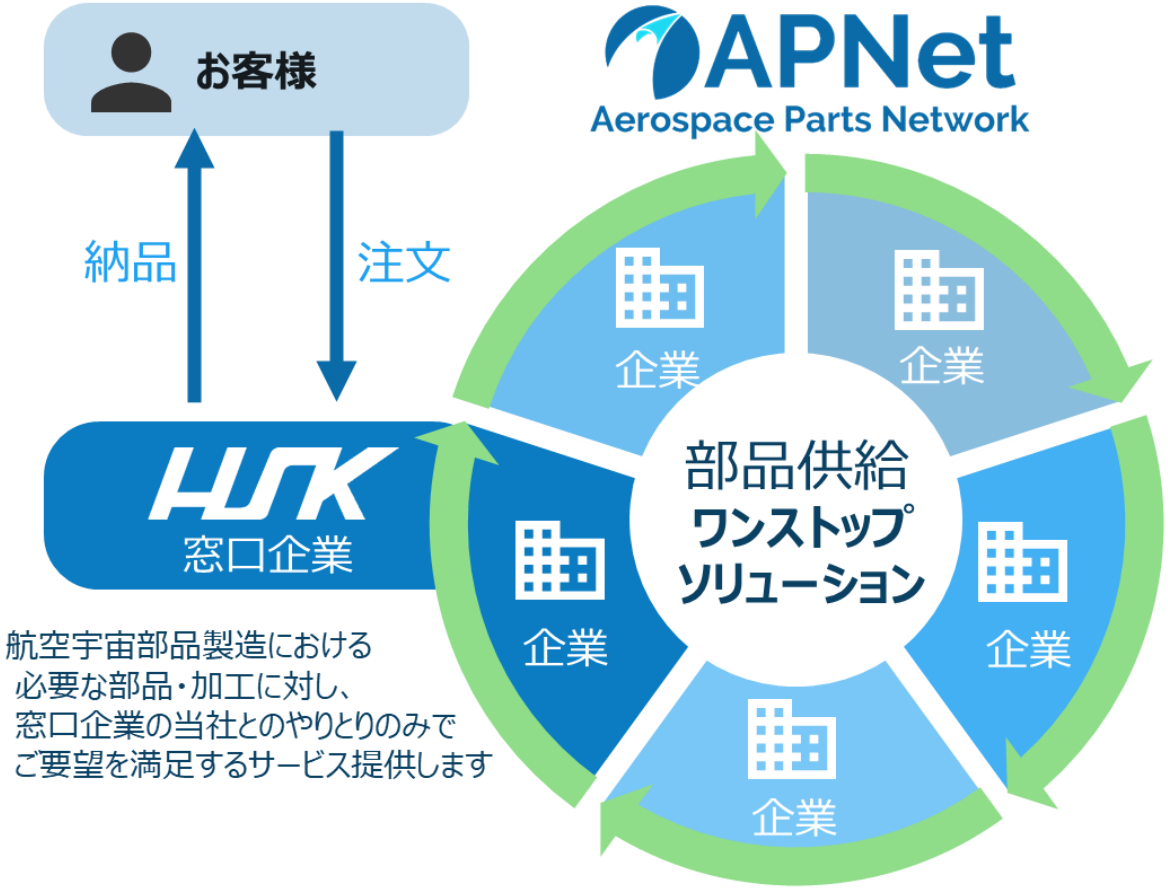


航空宇宙関連部品
防衛装備品

- 航空機器、機体部品
- 飛翔体部品





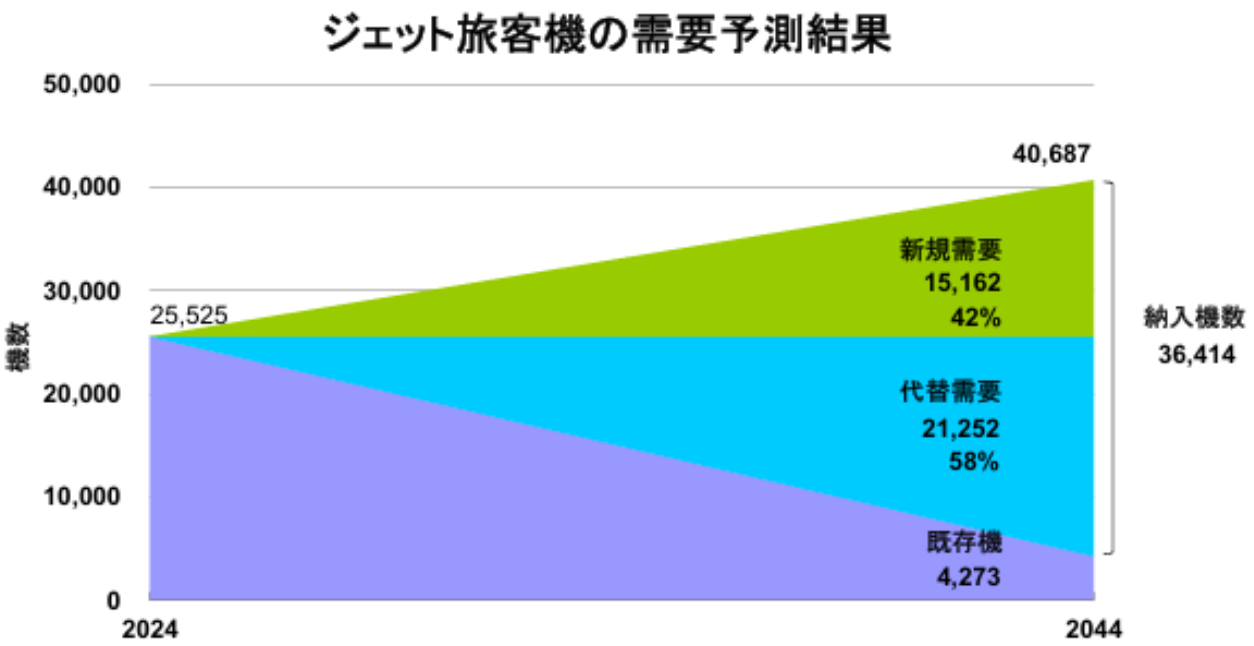


航空宇宙部品製造における
必要な部品・加工に対し、
窓口企業の当社とのやりとりのみで
ご要望を満足するサービス提供します

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

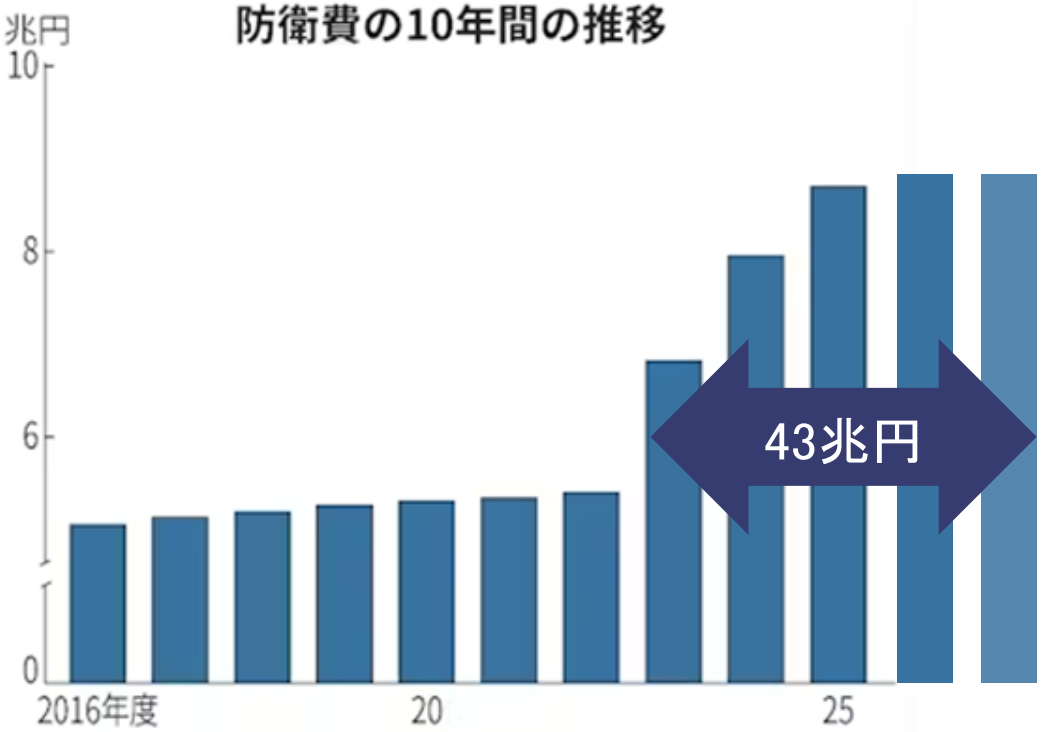
航空・宇宙分野（防衛装備品）の外部環境

世界のジェット旅客機の需要予測



出展：一般財団法人 日本航空機開発協会

防衛費予算



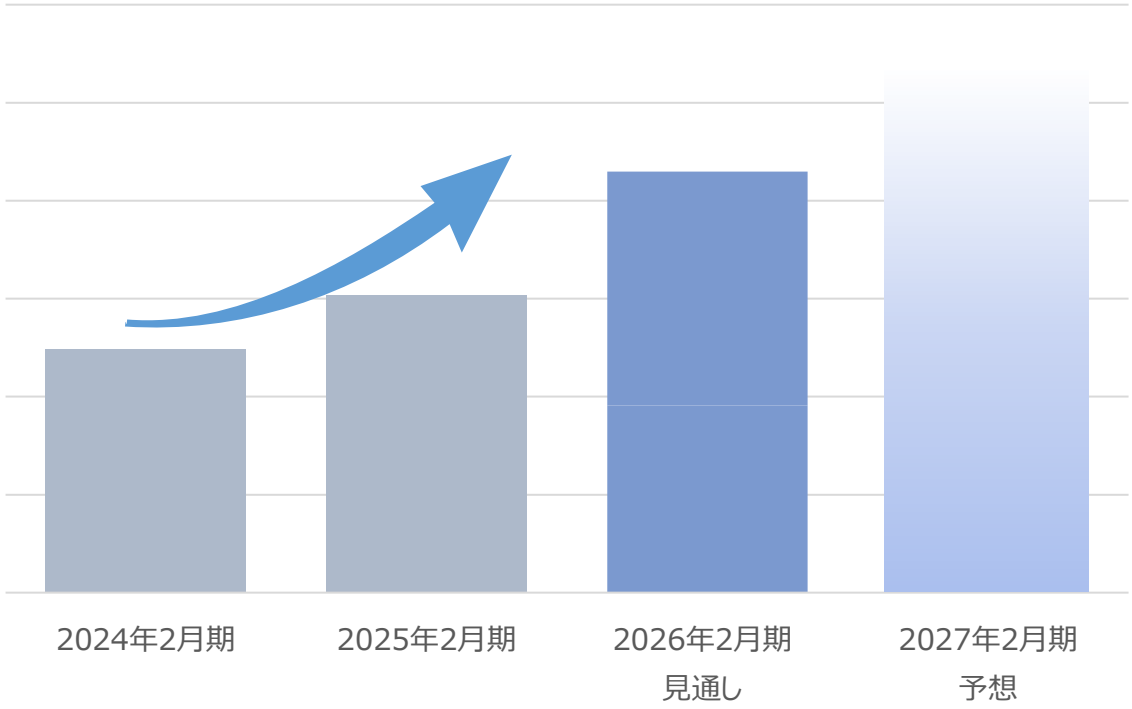
出展：財務省ホームページ「中期防衛力整備計画」

- 世界のエアラインによるジェット旅客機の運用機数は増加傾向
- 既存機は燃費性能に優れる機種への入れ替え積極化
- 安全保障強化の方針を受け、防衛力整備計画が大幅拡充
- 防衛装備品の開発・製造費にも重点配分

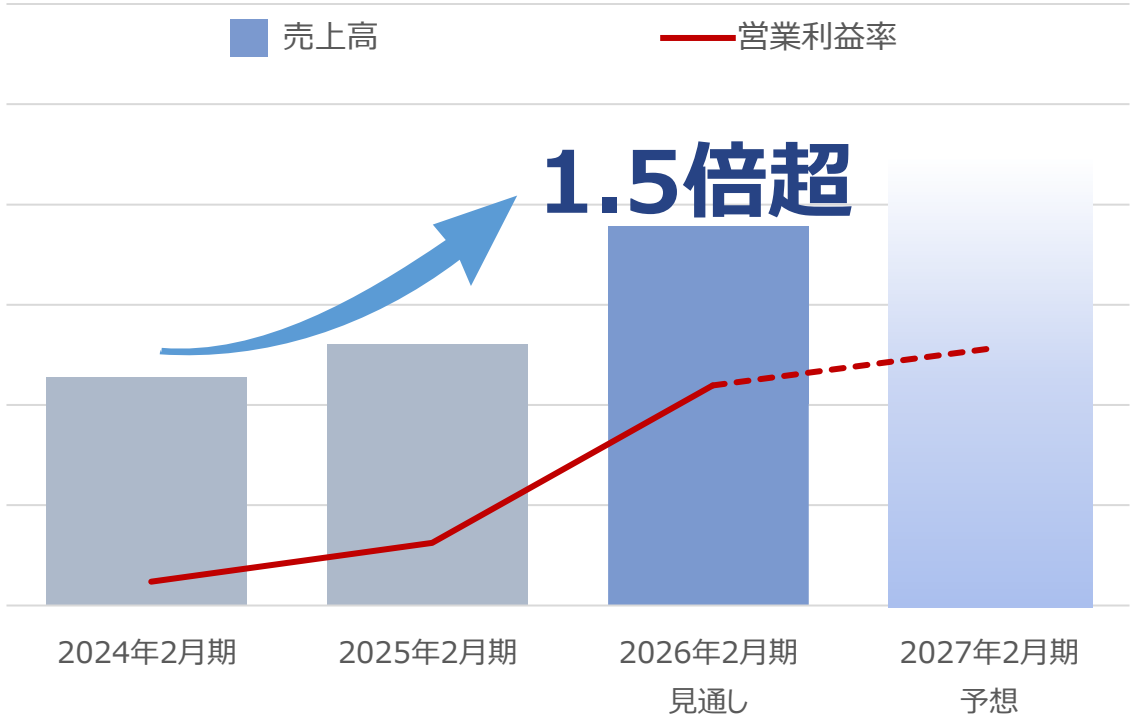
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

航空・宇宙分野の受注高・売上高・営業利益率

受注高



売上高・営業利益率



2024年2月期対2026年２月期見通し

- 航空機エンジン部品・防衛装備品の需要増で受注高が着実に伸長。
- 分野全体の売上高は約1.5倍超。（当初予想に対し1年前倒し）
- 価格の適正化および長期契約等による生産の安定化で収益改善も進む。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

環境・エネルギー分野（ガスタービン部品）の当社の強み

- 特殊精密加工技術を用いて部品を完成させる全工程を担い、新製やメンテナンス需要へ対応
- 国内メーカーだけでなく海外部品メーカーも視野に幅広く展開

40年の信頼関係を築いた高い品質と
顧客課題への提案力と対応力

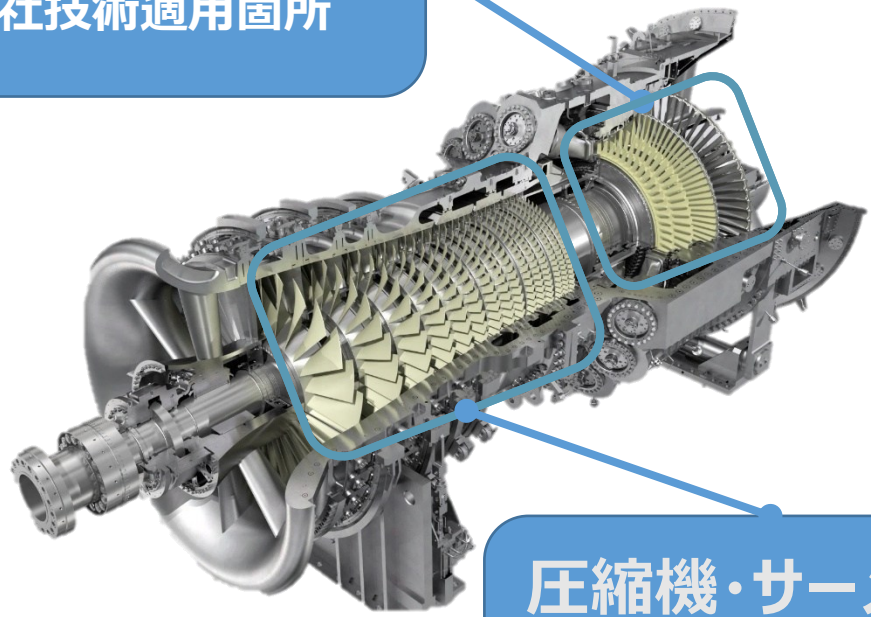
豊富な加工技術による一貫生産で部品完成を担う

サーメテルコーティング®や電解加工などのコア技術で
ガスタービン高効率化に貢献

全工程を担う重要サプライヤーの地位確立

素材支給 → 電解加工 → 機械加工 → 放電加工 → 溶接 → 溶射 → 熱処理 → 手仕上げ非破壊検査 → 完成出荷

タービンブレード
当社技術適用箇所



画像提供：三菱重工業㈱

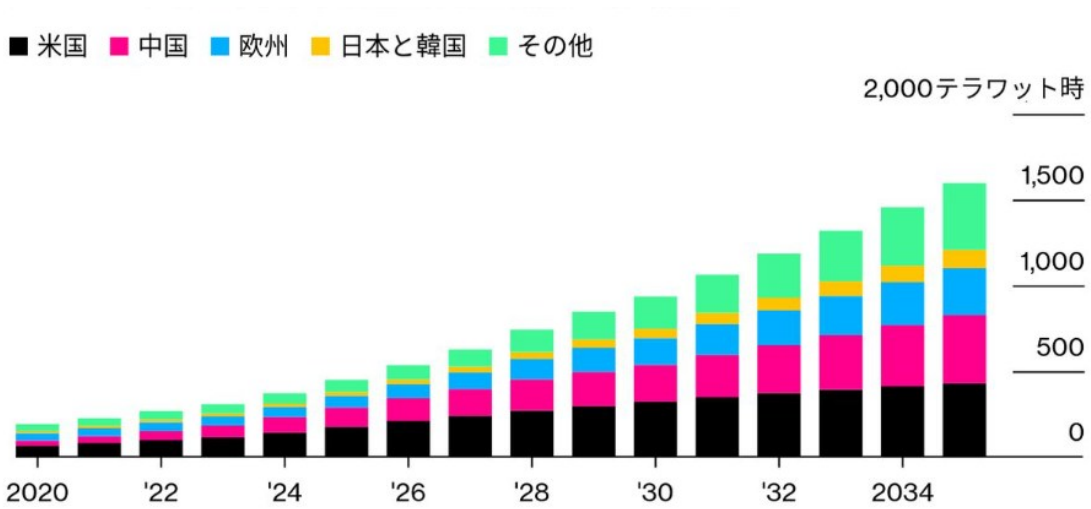
圧縮機・サーメテルコーティング
当社技術適用箇所

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

環境・エネルギー分野の外部環境

長期エネルギー見通し

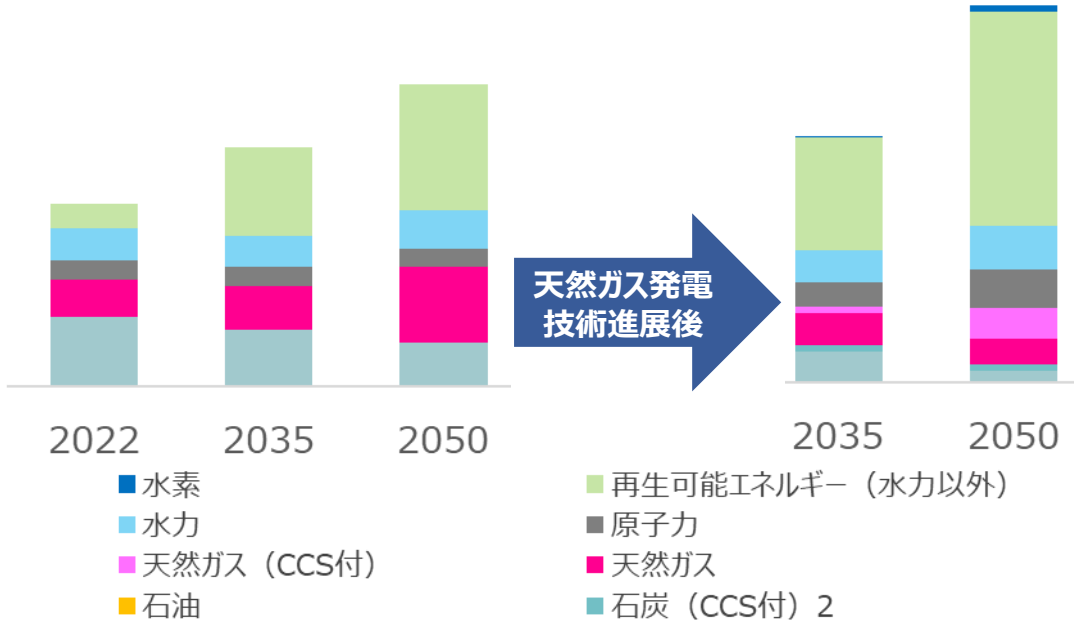
AI普及を背景に
データセンターの新増設に伴う電力需要は旺盛



出典：Bloomberg

世界の発電設備と発電電力量予測

燃料転換や再エネの補完として重要な役割を担う
天然ガス火力発電の需要は継続

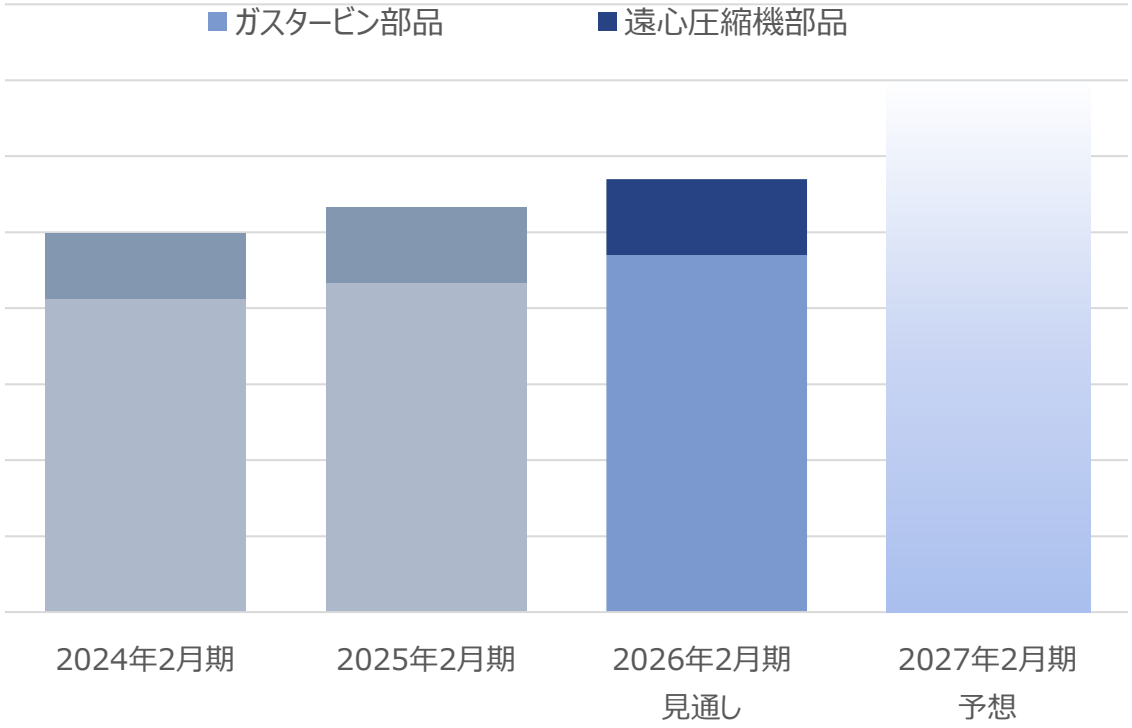


出典：日本エネルギー経済研究所

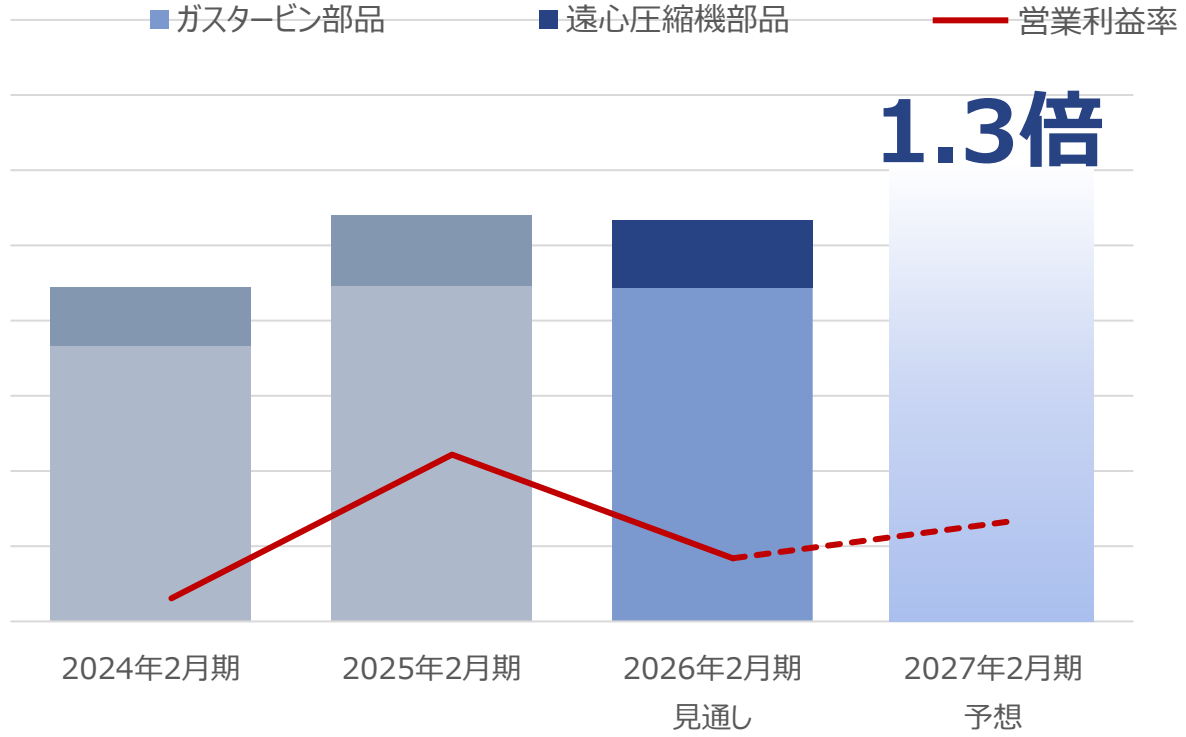
Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

環境・エネルギー分野の受注高・売上高・営業利益率

受注高



売上高・営業利益率



2026年2月期見通し

- ガスタービン部品の受注高は新アイテム・新ライン立ち上げにより前期並みに進捗。
- 2027年2月期の売上高は、2024年2月期に対し1.3倍の達成を目指す。
- 先行投資を実施し人件費・設備費等の固定費が増加、来期に投資回収スタート。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

②安定事業へ

住宅分野

◆ 住宅用アルミサッシ押出用金型
◆ ビル建材、産業用金型など



効率化を追求し
安定収益に貢献

デジタル技術を
活用し工法転換



＜進捗状況＞

●パイロットラインを設置し新工法を検証、段階的な切替えで生産の不安定要素を解消
●再現性の高い金型の安定供給と採算性向上の両立を維持継続

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

③新分野で再成長

交通・輸送分野

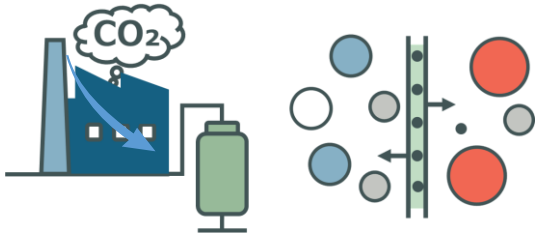


◆ セラミックスハニカム押出用金型

脱炭素分野への技術活用

Co２回収とガス分離技術の開発へ貢献

・専門設備の開発や工法の見直し等顧客と共に技術の実証を推進中



CO2回収　　ガス分離

機械装置分野



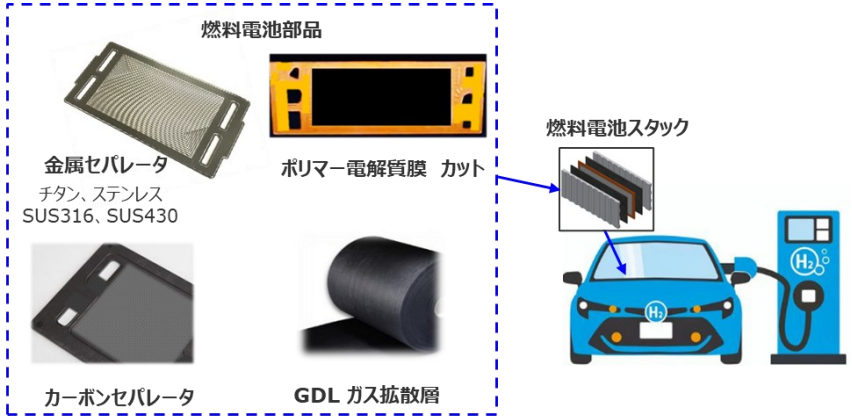
◆ デジタルサーボプレス機
ZENformerシリーズ

環境負荷低減に向けた製品開発へ貢献

燃料電池部品の社会実装への貢献

・新たな素材に対応した最適な工法開発

・遠隔支援サービスを活用し、海外の需要開拓を推進中



Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

資源循環型社会に向けた活動①





３Dプリンター・プレス機による成形



プラスチックや未利用資源



社会実装に向けた取組み



バイオマスプラスチック等 複合素材



MF式混合溶融装置

※当事業は機械装置等セグメントに該当

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

資源循環型社会に向けた活動②

「藻類スツール 蓮／REN」に材料供給

当社は、2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
日本館に「双鶴」共創プロジェクトの一員として協賛しました。

現地では、当社の技術で藻類とプラスチックを混錬し、
３Ｄプリンターを使って、【スツール（椅子）】を
作成する様子をご紹介しました。

このプロジェクトを代表しエス.ラボ株式会社が藻類スツール『蓮/REN』を
販売するにあたり、材料設計ならびに色彩調整の開発に関与していた
当社が材料を供給しました。





Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved

資源循環型社会に向けた活動③

バイオを基点とした社会の実現を追求する、“バイオエコノミーを推進する産業横断型イニシアチブ”
異業種・異分野のパートナーが垣根を越えて共創できる実践的なプラットフォーム

「MATSURI」に参画(主催団体：ちとせグループ)

CHITOSE
MATSURI

M	Microorganisms	微生物	微生物とともに生きることが、バイオエコノミーを推進し人類が豊かに暮らし続けるための鍵であると言うことを常に認識し、微生物とともに豊かな社会を創造します。
A	Agri-Engineering	農学	農学が大事にしてきた価値観、農芸化学という単語に込められた伝統と想いを引き継ぎ、解析的アプローチだけでなく、帰納的なアプローチを駆使して、生き物中心の技術開発を志向します。
T	Transparency&Trust	透明性と信頼	どこかの誰かの得になるために作られた表面的なルールに合わせるのではなく、本質的に環境と人類の為になることを意識し、科学的に正しい情報を、透明性と頼を大事にして発信し続けます。
S	Sustainability	持続性	完全な環境持続型のビジネスの難しさを理解し、環境だけでなく、経済的にも持続的な仕組みを追求し、本当の意味で持続的な社会のあり方を探求し続けることから逃げません。
U	Unused-resources	未利用資源	廃棄物や廃水を処理して綺麗にして環境に放出するという従来型の環境対策ではなく、元素ごとの循環とそこに住まう生態系のあり方を意識したアプローチで、事業を構築します。
R	Radiant power	太陽光	太陽光エネルギーの0.015％を使えれば、人類は今の生活を維持したまま、循環型社会を構築することができることを認識し、地球上の光合成を経済合理性を持って増やすことに努力します。
I	Industrial scale	産業規模	ラボスケールでの研究データの取得を仕事の目的にせず、常に系全体のマテリアルバランスを意識し、産業規模で展開することを意識した技術開発・事業開発を行います。

Copyright ©HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD. All Rights Reserved



株式会社 放電精密加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。